

10月10日（木） 全校朝会 校長の話

みなさん、おはようございます。学校の真ん中でアレを叫びます。元気ですか！？
元気があれば、全校朝会ができる。

ということで、すっかり、秋らしくなってきました。暑くもなく、寒くもなく、勉強も運動も、読書も気持ちよくできる季節です。もちろん、学習発表会の練習も非常にやりやすいはずです。

学習発表会の練習の時間は、校内の発表会まで多くて3時間ぐらい、お家の人や地域の方々への発表会まで5時間ぐらいですね。

そこで、これまでどの学年も練習を見せてもらって、あと3時間や5時間ぐらいの練習で大切にしてほしいことを2つお話しします。

1つめ。一生懸命さです。一生懸命にがんばるのは当たり前です。でも、一生懸命さって、どんなところに表れるかというと、メリハリです。歌うところは本気で歌う、せりふも本気。合奏では、楽器で指揮者を見て真剣に演奏する。逆に動いてはいけないところは、絶対に動かない。声を出してはいけないところは絶対に声を出さない。発表の入場や退場は静かに音をたてない。そんな姿で一生懸命さが分かります。一生懸命な姿には、感動して、一生懸命な拍手がもらえます。いい加減な発表をすると、それなりの拍手しかもらえません。「はいはい、終わった」ぐらいの拍手です。どっちの拍手がいいですか。

練習で大切なことの2つめ。集中力です。

何のために練習するか。もちろん、上手になるため。もう一つは、これだけ集中して練習したから、もう大丈夫と自信を付けるためです。まだ、本番で自信がないという人はたくさんいると思います。残り少ない限られた時間で練習します。集中してがんばったから自信がついた、というように練習しましょう。

メリハリと集中力。この2つを大切にしていって残り少ない練習をがんばってください。

本番では、大勢の人の前で堂々と発表することを通して、大竹市の70才のお祝いする、とともに、ぜひ観にきてくださる方に感動のプレゼントをお届けしましょう。